

CCN NEWSFLASH

メキシコ北部におけるニアショアリングの課題と電力需要権の割り当て

Issue # 162 July - august 2023 | August 24, 2023

ここ数ヶ月、メキシコではニアショアリング投資の増加に伴い、電力需要権（「kVA」）の割り当てが増加している。本稿では、kVAとは、安全で信頼できる電力供給を受けるために必要な電圧変換能力を測定する単位である。このことが重要なのは、現在、メキシコの工業団地やビルの電気回路に適用される変圧容量をエンドユーザーが要求するケースが多くなっているからである。したがって、移転現象の枠組みの中でkVAの割り当てが増加していることは驚くべきことではない。

この種の譲渡については、エネルギー規制委員会（「CRE」）が発行し、電気事業法発効のわずか2カ月前に連邦官報に掲載された公式の契約書雛形が有効である。この雛形は「中電圧サービスにおける電力需要権の譲渡に関する契約」と呼ばれている。この雛形が発行された日付を考慮すると、この雛形には、1998年に公表された拠出金に関する電気事業法施行規則で使用された用語がまだ含まれており、この用語はこれらのケースで引き続き有効である。公式譲渡契約書テンプレートの条項では、CFEは配電および変電インフラの所有者とされている。

一方、2018年3月22日、国家規制改善委員会（以下、CONAMER）のウェブサイトに、拠出金に関する一般管理規定の制定を求める草案が公表された。2022年8月26日までに、この草案に対してすでに十数件のコメントが提出されたが、草案の公開ファイルにおける最後の変更は、その撤回を求めるものであった。その後、2022年12月9日にCREは新たなパブリックコンサルテーションを開始し、2023年7月21日までに数件のコメントが提出された。

これまでの経緯を踏まえると、残念ながら、kVAの割り当てには現在、正式に規制されたプロセスは存在しない。このため、割り当て手続きは非常に長くなり、大きな不確実性を引き起こす。さらに、新規の負荷センターへの接続や既存の負荷の増加の手続きにおいて、工業団地の開発業者は、導線や変電所への多額の投資を余儀なくされるが、その主な理由は、近年、CFEがこれらの分野に十分な投資を行っていないためである。アポダカ配電エリアでは1kVAあたり約350ドル、ティファアナエリアでは500ドルというデータがある。これは、kVA取得のパラメータとなるCFE価格カタログに掲載されている価格が約125ドルであることと比較して際立っている。

したがって、一方では、エンドユーザーが迅速かつ確実に電圧変換容量を割り当てることができるように、CREが最終的に規制された、しかしダイナミックな手続きを確立すること、他方では、送配電という必要な公共サービスの独占的提供者としてのCFEの権限を完全に行使することを希望する。これは、メキシコがニアショアリングによってもたらされる潜在的な経済成長を最大化することを可能にする新たな投資によってのみ実現可能である。

コンタクト:

オマール・ロペス

アソシエイト

olopez@ccn-law.com.mx